



学校だより ウルムス

～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>

平成29年 2月28日

3月号

横浜市立釜利谷南小学校

校長 鈴木 秀一

1年間 ありがとうございます

校長 鈴木 秀一

本年度最後の第4回**学校運営協議会**が2月7日（火）に開催されました。6月号の学校だより「ウルムス」でもご紹介させていただいたように学校運営協議会は白山道、パークタウン、ニューライフの各自治会長、民生児童委員、主任児童委員、地域コーディネーター、はまっ子ふれあいスクールチーフ、PTA会長、釜利谷中学校長、学識経験者の委員の皆様で構成されています。5月の第1回協議会で承認された方針の1年間の取組の様子を、保護者の方や児童へのアンケート結果、職員の自己評価などとともに報告し、学校運営協議委員の皆様から評価していただきました。「生活習慣、学習習慣調査結果（全国）を見ると本校取組の成果がよく表れている。自己評価がもっと高くていいのではないか。（同様のご意見1）」「年間の活動計画と実際に実行している内容がうまく連携している。」「子どもたちを指導する教職員にストレスが溜まっていると子どもたちに与えるものも大きくなるので、教職員の自由な時間を十分に確保した上で各種の運営をお願いしたい。」「地域ボランティアやスペシャルティーチャーとの連携がすばらしく、釜南小の財産になっている。しっかり教育課程の中に位置づけていくとよい。」「要を中心に同じ方向に向かって活動・実践を重ねていくことと、日々振り返り共働をしていくことが大切。子どもたちは実に伸び伸び生活できている。チーム力の成果。」「子どもも先生も明るく元気な学校である。」「あいさつの“移り変わり”（別紙参照）を取る取組には感心した。」「毎年あいさつのことが話題になるが、よくできるようになってきたと思う。」「あいさつの大切さコミュニケーションのツールであることを教えていただけるとありがたい。」「この地域の子供たちはあいさつがよくできると全国を回っている工事業者の方から聞いた。」「あいさつはまだ少ないと思うが、学校としては多様な取組を行っている。」「あいさつには普段の会話より大きなエネルギーをのどに通す必要があり、朝は特に難しい。発声の訓練をするとよい。」などのご意見をいただきました。特にあいさつについてたくさんの委員の方からご意見がありました。本校や釜利谷中ブロックの小中学校が大事にしている取組のひとつでもあります。次年度も引き続き力を入れていきたいと考えています。委員の皆様、1年間ありがとうございました。

また、保護者の皆様にもPTA活動、サポーター活動、ボランティア活動・・・などの様々な場面でお力添えをいただきました。また、日頃より温かい励ましの言葉をかけていただきました。お蔭様で1年間最後のまとめの3月を迎えることができました。一人ひとりの**釜南子**にそれぞれの成長が見られたことと思います。大人がそれらを認め、褒めることで子どもは自己肯定感をもつことができます。そしてそれをもつことが次の目標に向けがんばろうという新たな気持ちにつながるのです。残り1か月、しっかり今の学年のまとめをして、新しい学年への準備を整えて卒業・進級させていきたいと思ひます。ご家庭でもご支援、お声掛けをお願いします。

平成30年度には本校創立30周年を迎えます。来年度（平成29年度）はそのことを視野に入れた準備の年となります。30周年実行委員会を学校運営協議会の委員の方を中心に立ち上げていきます。今後とも地域・保護者の皆様に愛される学校、そして児童や卒業生が誇れる学校として発展していくために職員一同、協働・尽力していきな思ひます。次年度以降も地域・保護者の皆様には一層のご支援・ご理解・ご協力をいただきますようよろしくお願ひ申し上げます。**1年間、ありがとうございます。**



【6年生東京見学参議院体験プログラム】



【第2回学校保健委員会】



【学校運営協議会の様子】